



ABEST21 e-News

No.111, November-December 2020

ABEST21 International

THE ALLIANCE ON BUSINESS EDUCATION AND SCHOLARSHIP FOR TOMORROW,
a 21st century organization

TEL. +81-3-3498-6220

FAX. +81-3-3498-6221

Editor: ITOH Fumio

"Due to the spread of the COVID-19 pandemic, we have conducted all meetings online for avoiding the so-called "Three Cs" -- Closed places with poor ventilation, Crowded places and conversations in Close proximity."

ABEST21 Office Report

11 月

- ・ PRT Comments Reports (Draft) の受審校への内示
- ・ 26 日: 第 1 回 Online Workshop for Assuring the Quality of the online Lectures の実施

12 月

- ・ 受審校と PRT Comments Reports (Draft)に対する異見調整
- ・ 17 日: 第 2 回 Online Workshop for Assuring the Quality of the online Lectures の実施

I. General Information

1. 2021 年度年次総会のスケジュールについて

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い渡航・外出の自粛が求められている状況において、2021 年度年次総会はオンラインで実施せざるを得ず、下記の日程での開催を予定している。開始時刻については時差の調整をしなければならないので未定である。インターネットのセキュリティ確保のために、情報を個別に送信しても確実に配信されたという保証がないので、総会開催に関する詳細情報は ABEST21 website の「掲示板」に掲載していくことにいたしましたので注意してください。開催予定日：2021 年 3 月 23 日（火）

2. Online Panel Discussion の開催について

2020 年 3 月に開催を予定していました ABEST21 Joint Research Project No. 8- "Humanizing Management Education for Sustainable Economic Development in Asia Pacific" のパネル討論会が新型コロナウイルス感染拡大により中止となりましたが、2021 年 3 月にこれまでの調査研究の報告を兼ねてオンラインによるパネル討論会の開催を予定しています。

II. ABEST21 Note and Voice for Tomorrow

1. ABEST21 President Note-No. 45

- 認証評価項目の見直しについて-

ABEST21 は 3 年毎に認証評価項目の見直しをしている。今年はその改正の年に当たり、過去 3 年間の認証評価審査で得た知見と経験知に基づいて、近年の教育研究環境の変化に教育研究組織体が「未来」に存続しうる教育研究活動の質を保持しているかどうかを評価する「評価項目」の適切性についての点検が欠かせないからである。今回の点検においては、下記の 3 事項についての点検を行った。

1. 「経済・社会・文化のグローバル化」の進展に対し、より複雑に錯綜し教育研究事象の解明が大学等に求められてきたことに対して、それに対応する大学等の「自己点検・評価」の分析が適切に行われるように誘導していかなければならない。そのためにより深層的な「自己点検・評価」の分析に導くために、これまで細分化されていた評価項目を類似した評価項目との整理統合を図り、より実質的な「自己点検・評価」の分析が行われるように評価項目の見直しをした。
2. 「経済・社会・文化のグローバル化」の加速度的な進展に対し、これまでの「グローバル化」に関する評価基準の体系化を図り、各評価基準に「グローバル化・多様化」の評価項目を配置し、グローバル化に関する評価項目の体系化を図った。
3. 「新型コロナウイルスの感染拡大」により普及されてきた「オンライン授業」に対し、「オンライン授業」の質保証を如何に維持していくかの観点から「オンライン授業」に関する評価項目の体系化を図った。

第一の視点は、これまで受審校の「自己点検・評価」分析のし易さから、自己点検の分析目標を明確化し、評価項目を単純化して 142 項目を設定してきた。しかし、大学等が近年の教育研究環境の多様化、複雑化、高度化そしてグローバル化等に対応していくためには、より教育研究活動の深層部の「自己点検・評価」の分析が不可欠となってきた。それ故、細分化されていた評価項目を同類項の評価項目との整理統合を図り、分析の「広さ」と「深さ」をもつより実質的な「自己点検・評価」分析が行われるように現在の 142 評価項目の整理統合をした。

第二の視点は、「経済・社会・文化のグローバル化」に対応した「グローバル化」に関する評価項目の体系化である。これまで、「グローバル化」に関する評価項目は、評価基準の「教育課程」、「学生」、「教員組織」そして「教育研究施設及び設備」に設定していた。しかし、「教育研究活動のグローバル化」と云う場合、多くの大学等は「自己点検・評価」の分析で国際交流協定校の数、外国人留学生の数、外国人教員の数等の数量的分析のみによって「グローバル化」の進捗を自己評価しようとする傾向がある。しかし、残念ながらその数量的評価のグローバル化の質的变化に及ぼした影響についての分析はほとんどなされてこない。世界を網羅した国際交換協定校の数を誇るが、実際に学生交換協定に基づく留学生の数は少なく、グローバル化のキャンパス環境に及ぼす影響はみられない。それ故、今回の改正では「教学マネジメントのグローバル化」の基準を新たに設け、さらに既存の評価基準のグローバル化に関する評価項目との体系化を試みた。

第三の視点は、「新型コロナウイルス感染拡大」により「オンライン授業」の普及に対する「オンライン授業の質保証」の問題である。オンライン授業が対面授業と同じような教育の質保証をしていくためには、どのような教育研究環境の整備が必要かという視点で評価項目の整備をした。オ

ンライン授業の実施にはその実施環境の整備に係るさまざまな問題が内在している。これらの問題を評価項目に具現化し、オンライン授業の質保証に係る問題を評価項目として把握していくことは喫緊の課題と考えている。

大学は法人資格を持つ組織体であり、それ故に未来に存続していかなければならない。環境変化に対応していくためには組織体の経年により低下していく機能を活性化し、組織体としての適応能力と存続能力を強化していかなければならない。認証評価がそれを客観的に評価していく使命を負っていると胸に刻み込んでいる。(理事長、伊藤文雄)

2. “Member’s Voice for Tomorrow”-No. 5

「京都大学経営管理大学院の国際化」

戸田 圭一 教授、京都大学経営管理大学院院長

京都大学経営管理大学院は、高度な専門職人材の育成と先端的なマネジメント研究の進展を教育・研究理念としています。昨今のグローバル化の進展のなかで、世界につながるネットワークを拡大しながらも、独自の視座によって世界に通じるインパクトのある教育・研究を目指しています。これらの観点から、多くの留学生を海外から受け入れ、また外国人教員の充実も図っています。そして、いっそうグローバル化を進めるため、経営管理大学院の国際化構想、すなわち“i-GSM 構想”のもと、以下に示す活動を展開しています。

(1) 2011 年度に英語の授業だけで修了可能なプロジェクトマネジメントの英語コースを定員 10 名で立ち上げました(IPROMAC : International Project Operations Management Course)。これを拡充



して 2019 年度からは 2 つの英語プログラム i-BA(International Business Administration Program)と i-PM(International Project Management Program)に変更し、定員を 2 倍の 20 名としました。i-BA はビジネスリーダーシップ、サービス&ホスピタリティ、ファイナンス・会計のプログラムに対応するものです。i-PM は、IPROMAC を引き継いだものです。

(2) 2019 年度からは米国・コーネル大学と国際連携コース KC-CDO (Kyoto-Cornell International Collaborative Degree Opportunity)を立ち上げました。これは、デジタルディスラプション時代におけるホスピタリティマインドを持ったグローバルリーダーシップ人材を育成するためのものです。またこれは、2 年間で京都大学と米国・コーネル大学の学位を取得できるという、新たな連携コースです。

(3) 大学間交流協定や部局間交流協定を結んでいる海外の大学との間で、短期留学生を中心とした学生交流を図っています。2018 年度は、経営管理大学院の学生を交流協定校に派遣するとともに、約 30 名程度の交換留学生を受け入れ、経営管理大学院のグローバル化に貢献しています。

また、海外でのサマースクールや研究交流の活動も充実させています。これらのイベントの参加者には、ポイントを与えるポイントシステムを適用しています。ポイントシステムとは、本大学院主催のシンポジウム等への参加や、海外セミナー等への参加に対してポイントを付与し、本大学院修了には一定のポイントを条件とすることで、これらの学習参加を推奨するものです。

(4) インバウンドの観光客の増加に伴い、グローバルな視点で観光経営を推進できる人材を育成するため、2019 年度より観光経営科学コースの学生定員を約 5 名から 10 名に拡充しました。

上記のような活動をふまえ、2019年度に経営管理大学院（専門職学位課程）の学生定員を1学年80名から1学年100名へと20名の増員を行うことが認められました。またあわせて、教員定員を2名増員できることとなりました。

さらに2013年度から企業との共同で協力企業社員を対象に、アジア各国のビジネススクールと連携し、現地有力企業等でのインターンシップ研修を含む教育コース（アジア・ビジネスリーダー・プログラム）を実施しています。若手の社員が新たな経験を積み、リーダーとして飛躍する機会を提供しています。

異文化と接すること、外国人とともに学ぶことにより、学生たちは視野を広げ、積極性を身につけ、人間としての幅を広げていきます。今後は引き続き上に述べた取り組みを充実させるとともに、より多くの学生の海外派遣や受入が進むような仕組みの検討や、日本人も含めて多くの学生が英語コミュニケーションを学ぶ授業の増加の検討などを行っていく所存です。

III. Quality Assurance-“Assessing Today for Tomorrow”-

“There will be no problem if the School exists in a vacuum. However, in the society where the real environment is changing, improving the educational and research activities is essential in order for the School to survive as a “Going Concern.”

1. 2020年度認証評価（2020年3月）の審査結果報告書の提出について

この度の新型コロナ禍により文部科学省に報告した2020年度ABEST21認証評価審査結果の報告書の印刷製本が印刷所の都合で遅れていたが、印刷製本が完了したので文部科学省に無事提出することができた。報告書は全三巻で、第1巻は日本の経営分野専門職大学院の審査報告書（83頁）、第2巻は海外大学のProgram-based Accreditation Systemの審査報告書（149頁）、第3巻は、海外大学のAcademic Unit-based Accreditation Systemの審査報告書（431頁）の構成となった。



2. 2020 年度の認証評価審査スケジュールについて

新型コロナ禍の下で実施してきた Online PRV 及び受審校との異見調整が終了し、最終段階の Peer Review Committee 及び Accreditation Committee での最終審査が、下記の日程で行われることになった。

The 1st Online Peer Review Committee: 2021 年 1 月 28 日 (木)

The 2nd Online Peer Review Committee: 2021 年 2 月 25 日 (木) ・ 26 日 (金)

The Online Accreditation Committee: 2021 年 3 月 11 日 (木)

3. 2021 年度 ABEST21 Accreditation Seminar の開催について

2021 年度 ABEST21 Accreditation Seminar を下記の日程でオンラインで開催いたします。開催時間は 15:00 (Tokyo time) で、Zoom host は ABEST21 です。詳細については ABEST21 website の「掲示板」に掲載していきます。

Online "Quality Improvement Strategy (QIS)" Seminar : 2021 年 1 月 19 日 (火)

Online "Self-Check/Self-Evaluation (SCR)" Seminar : 2021 年 1 月 20 日 (水)

Online "KAIZEN Report" Seminar: 2021 年 1 月 22 日 (金)

4. 認証評価基準の改正について

ABEST21 は 3 年毎に「認証評価基準」の改正をしている。2020 年は、その改正の年に当たり、これまでの認証評価の審査を通じて得た知見と経験知に基づき、下記の要点に基づいた改正を目途としている。現在の 146 評価項目の整理統合の調整作業が進められている。

1) 「経済・社会・文化のグローバル化」の進展に対し、より複雑に錯綜し教育研究事象の解明が大学等に求められてきたことに対して、それに対応する大学等の「自己点検・評価」の分析が適切に行われるように誘導していかなければならない。そのためにより深層的な「自己点検・評価」の分析に導くために、これまで細分化されていた評価項目を類似した評価項目との整理統合を図り、より実質的な「自己点検・評価」の分析が行われるように評価項目の見直しをした。

2) 「経済・社会・文化のグローバル化」の加速度的な進展に対し、これまでの「グローバル化」に関する評価基準の体系化を図り、各評価基準に「グローバル化・多様化」の評価項目を配置し、グローバル化に関する評価項目の体系化を図った。

3. 「新型コロナウイルスの感染拡大」により普及されてきた「オンライン授業」に対し、「オンライン授業」の質保証を如何に維持していくかの観点から「オンライン授業」に関する評価項目の体系化を図った。

改正(案)は、Peer Review Committee、Accreditation Committee 及び本法人理事会の承認を得て文部科学省に届出をし、2021 年度認証評価申請校より適用していく予定である。

IV. Quality Improvement -"Building Network for Tomorrow"

=====
"In the age of increasing globalization, it is a great challenge for the schools to create and maintain first-class educational programs in management. But no single institution can maintain all the required and ever-changing resources at hand nor continually keep those resources updated. It is

important for us to work together to leverage our complementary resources on a global scale.”

1. The Online Workshop for Assuring the Quality of the Online Lectures

第1回定例「オンライン授業の質保証研究会」の開催結果について

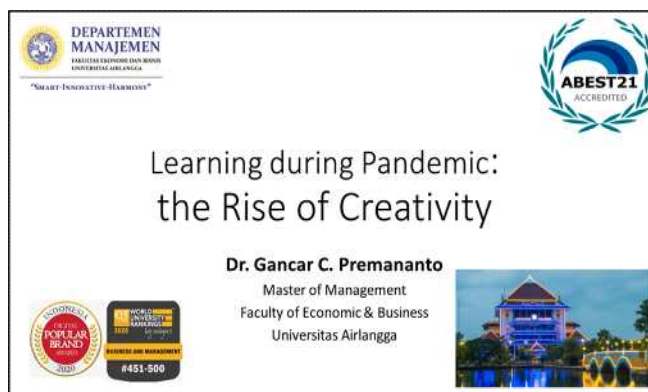
11月26日(木)、第1回 Online Workshop for Assuring the Quality of the online Lectures が、15:00-16:30 (Tokyo time)で、Associate Prof. Danaipong Chetchotsak, Ph.D.(KKU, Thailand)の司会で、下記の2名の発表が行われた。



1) Associate Professor Dr. Yudi Fernandes (Dept. of Business Engineering, Faculty of Industrial Management, Universiti Malaysia Pahang, Malaysia)により“Electronic Teaching and Learning: UMP Experiences Engineering, Faculty of Industrial Management” のテーマによりオンライン試験の実施に際し直面されている問題、特に学生への公平性の担保等の難しさについて問題提起がなされた。



2) Senior Lecturer Dr. Gancar C. Premananto (Master of Management, Faculty of Economics and Business, Universitas Airlangga) は“Learning during Pandemic: the Rise of Creativity”のテーマで、オンラインの環境下でのマネジメント教育の質向上には、これまで以上に企業との連携が必須である事を強調された。



第1回定例オンライン研究会出席者は下記のメンバーである。

Moderator:

- ・ Associate Prof. Danaipong Chetchotsak, Ph.D., Khon Kaen University, Thailand

Speakers:

- ・ Associate Prof. Dr. Yudi Fernando, Universiti Malaysia Pahang, Malaysia
- ・ Senior Lecturer Dr. Gancer C. Premananto, Universitas Airlangga, Indonesia

Attendees:

- ・ Assistant Prof. Dodie Tricahyono, Ph.D., Universitas Telkom, Indonesia
- ・ Assistant Prof. Dr. Hen Kai Wah, Universiti Tunku Abdul Rahman, Malaysia
- ・ Prof. Dr. IWAI Chiaki, Aoyama Gakuin University, Japan
- ・ Senior Lecturer Dr. Jayne Bye, Western Sydney University, Australia
- ・ Director Nalinee Mohpravit, Ph.D., Naresuan University, Thailand
- ・ Program Manager Dr. Rosly Othman, Universiti Sains Malaysia, Malaysia
- ・ Associate Prof. Dr. Siti Zaleha Sahak, Universiti Teknologi MARA, Malaysia
- ・ Lecturer Dr. Suthasinee Susiva, Burapha University, Thailand
- ・ Senior Lecturer Dr. Werner R. Murhadi, Universitas Surabaya, Indonesia
- ・ Vice Director Yeshika Alversia, Universitas Indonesia, Indonesia
- ・ Assistant Prof. Dr. Zabeda Bt. Abdul Hamid, International Islamic University Malaysia, Malaysia

なお、当日の報告者のスライド資料は、ABEST21 website の online workshop library に掲載されている。

第2回定例「オンライン授業の質保証研究会」の開催結果について

12月17日(木) The 2nd ABEST21 Online Workshop "Assuring the Quality of the Online Lecturers"が Associate Professor Dr. Danaipong Chetchotsak (Khon Kaen University, Thailand)の司会で開催され、Senior Lecturer Dr. Werner R. Murhadi (Universitas Surabaya, Indonesia) および、Assistant Professor Dr. Hen Kai Wah がスピーカーとして登壇された。

1) Dr. Werner R. Murhadi は"UBAYA e-Learning"をテーマに、新型コロナ感染拡大によりオンラインのみでの授業を余儀なくされた事をきっかけに、現在もすべてオンラインで授業を行われており、出欠確認の難しさや、学生からは対面授業を希望する声が依然寄せられている事等、現在抱えている問題等について紹介がなされた。発表の後、参加者よりディスカッションの機会を多く設けることにより出席確認をする機会を増やす等の解決策の提案がなされた。



2) Dr. Hen Kai Wah は “Online Experience During Covid-19: Challenges and Opportunities for Universiti Tunku Abdul Rahman”をテーマに、オンライン授業の質を高めるために実践されている、授業前に資料が読めるプラットフォームの設置等について紹介された。また、オンライン環境下での会議開催に関する優位性や問題点等についても紹介された。発表の後、データーのセキュリティの手法に関して等について質問がなされ活発な意見交換がなされた。



第2回定例オンライン研究会出席者は下記のメンバーである。

Moderator:

- Associate Prof. Danaipong Chetchotsak, Ph.D., Khon Kaen University, Thailand

Speakers:

- Senior Lecturer Dr. Werner R. Murhadi, Universitas Surabaya, Indonesia
- Assistant Prof. Dr. Hen Kai Wah, Universiti Tunku Abdul Rahman, Malaysia

Attendees:

- Vice Dean Dr. Abdul Ghofar, Universitas Brawijaya, Indonesia
- Adjunct Associate Prof. Catherine Shibala, Hitotsubashi University, Japan
- Assistant Prof. Dodie Tricahyono, Ph.D., Universitas Telkom, Indonesia
- Senior Lecturer Dr. Gancer C. Premananto, Universitas Airlangga, Indonesia
- Prof. Dr. Huam Hon Tat, Putra Business School, Malaysia
- Prof. Dr. IWAI Chiaki, Aoyama Gakuin University, Japan
- Program Manager Dr. Rosly Othman, Universiti Sains Malaysia, Malaysia
- Lecturer Dr. Suthasinee Susiva, Burapha University, Thailand
- Associate Prof. Dr. Veena Jadhav, SP Jain School of Global Management, Singapore
- Vice Director Yeshika Alversia, Universitas Indonesia, Indonesia
- Associate Prof. Dr. Yudi Fernando, Universiti Malaysia Pahang, Malaysia
- Assistant Prof. Dr. Zabeda Bt. Abdul Hamid, International Islamic University Malaysia, Malaysia

第3回定例「オンライン授業の質保証研究会」の開催について

第3回「オンライン授業の質保証研究会」は2021年1月21日（木）開催予定で、下記3名の先生方の発表が予定されている。

Moderator:

- Associate Prof. Danaipong Chetchotsak, Ph.D., Khon Kaen University, Thailand

Speakers:

- Ersya Tri Wahyuni, Ph.D., Universitas Padjadjaran, Indonesia
- Associate Prof. Dr. Veena Jadhav, SP Jain School of Global Management, Singapore
- Assistant Prof. Dodie Tricahyono, Ph.D., Universitas Telkom, Indonesia

2. Introduction of the new Deans

**Dean Prof. Dr. Syed Jamal Abdul Nasir Syed Mohamad
Arshad Ayub Graduate Business School (AAGBS), Universiti Teknologi MARA
(UiTM) Shah Alam, Malaysia**

Greeting from AAGBS.

On behalf of the AAGBS's faculty members and staff, and as the new dean of AAGBS, it is a pleasure to continue working with ABEST21 in ensuring and enhancing the quality of management education.

For your kind information, we are approaching the Phase II and Phase III of our five-year strategic plan, that is to achieve global presence (the year 2021 -2022) and global prominence (the year 2023-2024).

We highly value the ABEST21 international re-accreditation awarded to our MBA program for the year 2020 to 2025. The ABEST21 accreditation standards and criteria are vital to us in improving our program quality and realizing our School's mission.

We look forward to keeping our partnership with ABEST21.



V. 2020 Retrospect (January to December 2020)

=====

Time flies. Its speed seems to prove the growth of ABEST21. In the year 2020 the ABEST21 activities for quality assurance of management education disseminated in the Asian countries and gained further recognition. Here is a brief review of 2020:

January

- 07th: Visit to Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of Japan
- 11th: Visit to United Nations University, Tokyo
- 14th: Visit to Japan International Cooperation Agency (JICA), Tokyo
- 27th: Attending the 37th Japan Council for Nurturing Global Management Professionals
- 31th: Visit to the Western Sydney University, Australia

On January 31, 2020, we visited the School of Business, Western Sydney University located in the suburb of Sydney, Australia. At the lunch session with Vice-Chancellor and President Professor Barney Glover we explained about the ABEST21 activities. We also had the opportunity to exchange opinions with Dean Prof. Amir Mahmood and the business school faculty on "Nurturing Global Management Professionals in the Age of Globalization".



February

- 03rd: Attending the 2nd Malaysia Council for Nurturing Global Management Professionals
- 04th: Organizing the ABEST21 Accreditation Seminar I in Malaysia, Kuala Lumpur



- 06th: Visit to Prof. M.Nasir, Plaza Bank Mandiri, Jakarta
- 07th: Organizing the ABEST21 Accreditation Seminar I in Indonesia, Jakarta
- 07th: Attending the 3rd Indonesia Council for Nurturing Global Management Professionals, Jakarta
- 19th: Visit to AEON Head Office, Chiba

March

- 03rd : An accounting report by HORIE Licensed Tax Accountant
- 03rd : Visit to the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of Japan

- 04th : Visit to the United Nations University, Tokyo
- 10th : Accounting audit by an auditor
- 12th : Visit to Japan International Cooperation Agency
- 23rd : Visit to the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of Japan

ABEST21 becomes a supporting member of Scholarship for the United Nations University Institute for the Advanced Study of Sustainability

The Institute for the Advanced Study of Sustainability at the United Nations University aims to nurture experts able to cope with “global urgent challenges that United Nations and the world face”. To support the Institute’s students from the developing countries (master and doctoral programs), ABEST21 has become a supporting member category A for the Scholarship for UNU. The Master’s program aims to nurture human resources equipped with necessary knowledge and skills for contributing to problem solving regarding sustainability. The Doctoral program aims to develop researchers in the field of sustainability as a science.

April

- 07th: The Japanese Government declared a national state of emergency to seven prefectures due to COVID-19, requesting people to stay home

May

- 20th: The 1st Online Accreditation Seminar II
- 25th: The emergency declaration in Japan was entirely lifted

On May 25, Prime Minister ABE Shinzo lifted the state of emergency concerning the novel coronavirus in all areas. But, Tokyo Gov. Yuriko Koike said that “I want to protect the capital of Tokyo. …The measure would extensively cover places where the so-called “Three Cs” are likely to be seen—closed places with poor ventilation, crowded places and conversations in close proximity.”

- 26th: The 2nd Online Accreditation Seminar II
- 28th: The 3rd Online Accreditation Seminar II

The 3rd online Seminar II was on Thursday, May 28, 2020, 15:00-16:00 (Japan time), connecting 4 countries (Japan-Thailand-Malaysia-Indonesia). It was delivered by the President of ABEST21 and Dr. Danaipong (Khon Kaen University, Khon Kaen) of Thailand, followed by active Q&A session. 10 applicant schools and 13 school representatives took part in the Seminar.



June

- 04th : Conducting online Accreditation Seminar II for the schools
- 16th : Conducting online Accreditation Seminar for Institut Teknologi Bandung (Indonesia)
- 18th : Conducting online Accreditation Seminar for Universitas Jendal Soedirman (Indonesia)
- 22nd : Conducting online Accreditation Seminar for Universitas Jendal Soedirman (Indonesia)
- 30th : Conducting online Accreditation Seminar for PPM School of Management (Indonesia)

July

- 04th : Holding online meeting for the 2nd Research Project-8 "Humanizing"
- Posting Accreditation Certificate and KAIZEN Review Report for schools
- 15th: Granting Accreditation Certificate and Crystal Shield for Waseda Business School
- 16th: Conducting online Accreditation Seminar for GSM-Kyoto University
- 20th: Conducting online Accreditation Seminar for Universitas Islam Sultan Agung (Indonesia)
- 21st: Conducting online Accreditation Seminar for Management and Science University (Malaysia)
- 27th: Conducting online Accreditation Seminar for Universitas Udayana (Indonesia)

August

- 03rd : Conducting online PRV Training Seminar for PRT Group-A

PRT Training Seminar for 2020 was held for 12 days starting on August 3, 2020, in total 7 groups, from Group A to Group G. In particular, the issues of how to cope with the time difference while practicing online PRV internationally, how to utilize the limited time, clarification of the purpose of online PRV, were examined. The Seminar was held at 15:00-16:00 (Tokyo Time) lectured by Dr. Danaipong Chetchotosak (Khon Kaen university, Thailand), Dr. Siti Zaleha Sahak (Universiti Teknologi MARA, Malaysia), Dr. Sudarso Kaderi Wiryono (Institut Teknologi Bandung, Indonesia), and Dr. Hirotaka Kawano (Kyoto University).



- 04th : Conducting online PRV Training Seminar for PRT Group-B
- 05th : Conducting online PRV Training Seminar for PRT Group-C
- 06th : Conducting online PRV Training Seminar for PRT Group-D
- 07th : Conducting online PRV Training Seminar for PRT Group-E
- 11th : Conducting online PRV Training Seminar for PRT Group-F
- 12th : Conducting online PRV Training Seminar for PRT Group-G
- 15th : Holding online meeting for the 3rd Research Project-8 "Humanizing"
- 28th : Conducting online PRV for Universitas Kristen Satya Wacana (Indonesia)
- 28th : Conducting online PRV for Management & Science University (Malaysia)
- 29th : Conducting online PRV for Management & Science University (Malaysia)
- 31st : Conducting online PRV for Universitas Bengkulu (Indonesia)

September

- 1st : Conducting online PRV for Universitas Bengkulu, Indonesia
- 2nd : Conducting online PRV for Universitas Islamic Indonesia, Indonesia

- 3rd : Conducting online PRV for Universitas Islamic Indonesia, Indonesia
- 7th : Conducting online PRV for Universitas Jenderal Soedirman, Indonesia
- 8th : Conducting online PRV for Universitas Jenderal Soedirman, Indonesia
- 10th : Conducting online PRV for Universitas Udayana, Indonesia
- 11th : Conducting online PRV for Universitas Udayana, Indonesia
- 14th : Conducting online PRV for Universitas Airlangga, Indonesia
- 15th : Conducting online PRV for Universitas Airlangga, Indonesia
- 16th : Conducting online PRV for Universitas Islam Sultan Agung, Indonesia
- 17th : Conducting online PRV for Universitas Islam Sultan Agung, Indonesia
- 21st : Conducting online PRV for Universitas Andalas, Indonesia
- 23rd : Conducting online PRV for FAM-Universiti Tunk Abdul Rahman, Malaysia
- 24th : Conducting online PRV for FAM-Universiti Tunk Abdul Rahman, Malaysia
- 28th : Conducting online PRV for Institut Pertanian Bogor University, Indonesia
- 29th : Conducting online PRV for Institut Pertanian Bogor University, Indonesia
- 30th : Conducting online PRV for Universitas Indonesia, Indonesia

October

- 1st : Conducting online PRV for Institut Teknologi Bandung, Indonesia
- 5th : Conducting online PRV for Universitas Telkom, Indonesia
- 6th : Conducting online PRV for Universitas Telkom, Indonesia
- 8th : Conducting online PRV for Kyoto University, Japan
- 9th : Conducting online PRV for Kyoto University, Japan

Online PRV for SCR will take 2 days based on the result of the Desk Review. Problems will be solved through online interviews with various stakeholders. In the case of Graduate School of Management, Kyoto University, Japan, the online PRV was conducted on October 8 and 9, 2020, connecting Tokyo, Moscow (Russia), Kuala Lumpur and Bandung. In addition to considering the time differences, the online environment was tested with Kyoto University on the day before the PRV. The actual review was filled with good communication to solve the problems within a certain time limit. ABEST21 was in charge of managing the Zoom room as a coordinator.



The actual review was filled with good communication to solve the problems within a certain time limit. ABEST21 was in charge of managing the Zoom room as a coordinator.

- 12th : Conducting online PRV for SBI Graduate School, Japan
- 13th : Conducting online PRV for PPM School of Management, Indonesia
- 14th : Conducting online PRV for PPM School of Management, Indonesia
- 16th : Conducting online PRV for Universitas Surabaya, Indonesia

As for the online PRV for KAIZEN Report, it was conducted in a single day based on the Desk Review done in advance. In the case of Kaizen Report submitted by Faculty of Economics and Business, Universitas Surabaya, the PRV was conducted on October 16, 2020. In the same way as in PRV for SCR, online network was tested on the day before, and



considering the time differences among Tokyo, Pittsburgh (U.S.A.), Kuala Lumpur, and Jakarta, review was practiced to check on the progress of Kaizen issues based on action plan to enhance the quality of education.

- 27th : Conducting online PRV for Universitas Malaysia Pahang, Malaysia
- 29th : Conducting online Workshop for Assuring the Quality of the Online Lectures

Prior to the launch of the above workshop in November, we held a special lecture meeting on October 29 with Professor Takao Shigeta from SBI Graduate School as the speaker. Since SBI Graduate School is a Japanese Business School featuring education system mainly based on E-Learning, we asked Professor Shigeta to provide a lecture on how to assure the quality of E-Learning education. "Assurance of online education quality" is an urgent issue for schools obliged to introduce online education due to the COVID-19 pandemic. The Workshop will be held monthly on the third Thursday of the month. Up to August 2021, cases for 2 schools will be studied at each workshop. In the future these studies will be put together as a research paper. At the special lecture meeting, President Itoh of ABEST21 explained the aim and method of the workshop based on the following slide materials on "The ABEST21 Online Workshop for Assuring the Quality of the Online Lectures".



November

- 4th : Conducting online PRV for FBF-Universiti Tunk Abdul Rahman, Malaysia
- 5th : Conducting online PRV for FBF-Universiti Tunk Abdul Rahman, Malaysia
- 26th : Conducting the 1st online Workshop for Assuring the Quality of the online Lectures

December

- 17th : Conducting the 2nd online Workshop for Assuring the Quality of the online Lectures